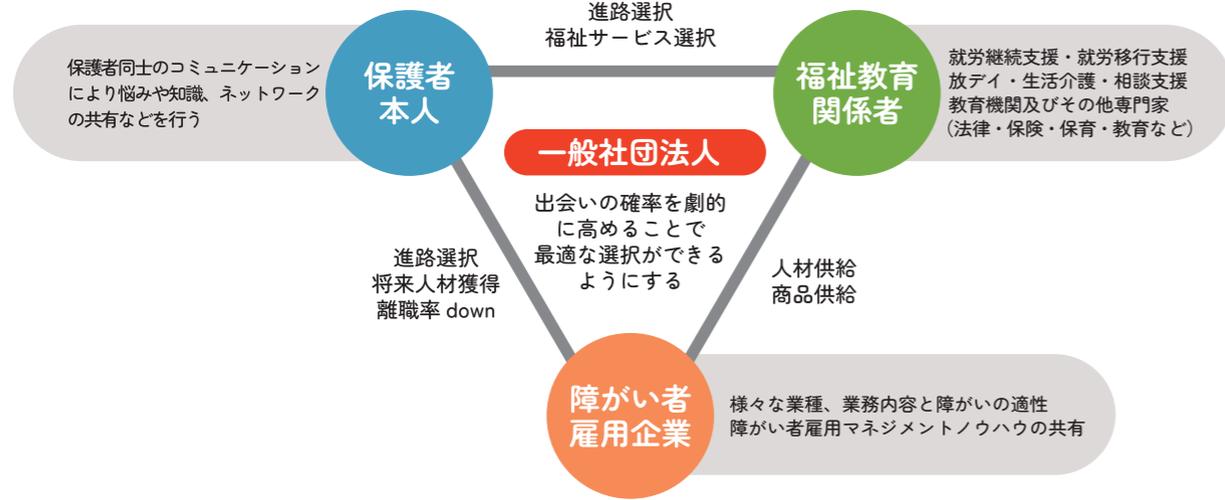


コミュニティ事業イメージ

「保護者・本人」

「障がい者雇用法人」の3者の課題を、情報とピンポイントの出会いで解決していく

「障がい福祉・教育」



コミュニティ事業実績

1. 商品供給：株式会社愛しとーと + 生活介護施設ひかり作業所

ひかり作業所では、20年以上前から重度精神障がい者の皆さんと「ひかり布巾」を製造販売しています。  
 (株)愛しとーとの岩本社長と共に作業所を見学し、創業20周年感謝祭で記念品として700枚配布していただきました。



2. 商品供給：やぐらもんグループ + (株)数寄屋

やぐらもんグループ(B型事業所)が管理運営する福岡市役所1階のユニバーサルカフェ(ナクイロハイロ)の物販に、博多織名刺入れなどを障がい者施設と連携して製造販売する(株)数寄屋さんの商品をご紹介します。展示販売していただくことにつながりました。



【モニター募集】

モニターは緩やかな構成員であり、モニターの皆さまと双方向コミュニケーションをとりながら、リアル訪問・フリーペーパー作成・コミュニティ事業を一緒に作っていきます。

- ・ママモニター
- ・障がい福祉・教育モニター
- ・障がい者雇用法人モニター

POINT  
 会費無料  
 連絡は原則  
 グループLINEを使用します。

【サポーター(賛助会員)募集】

一般社団法人 STATICE は非営利事業のため、当該事業にご賛同いただける企業さま、団体さま・個人さまの年会費により運営していきます。

- 【特典】
- ・フリーペーパーにて企業・団体・個人名のご紹介(希望者のみ)
  - ・当社団法人ホームページにて企業・団体・個人名及びHPのご紹介(希望者のみ)
  - ・フリーペーパーの送付

【年会費】

- ・10 50,000 円

【お申込み】  
 QRコードよりお願いいたします

【振込先】  
 西日本シティ銀行 春日原支店(003)  
 普通口座 3142641

一般社団法人 STATICE 代表理事 樋口大志

※大変恐れ入りますが、お振込み手数料はお客様にてご負担くださいますようお願い申し上げます。

※振込内容確認後、特典についてのご案内をメールにてお送りいたします。



【お申込み】  
 QRコードよりお願いいたします

保護者モニター 福祉モニター 企業モニター



※ご質問があればメールにてご連絡ください  
 info.syadan.statice@gmail.com

【フリーペーパー「福岡県障がい福祉情報誌 STATICE」創刊号アンケート】



【特別インタビュー】  
 寺崎雅巳  
 福岡県教育委員会教育長

【障がい者雇用企業インタビュー】  
 株式会社マイマイホールディングス  
 三戸宗一郎 代表取締役

Vol.1

特集

1. ITで障がい者の就労を支援する  
 就労移行支援・就労継続A型・B型事業所 TeToTe
2. こだわりのチョコレートづくりで賃金向上を目指す  
 久遠チョコレート 直方店
3. 特例子会社としての取り組み  
 西部ガス絆結株式会社

協賛

- 株式会社堀内電気
- 株式会社eパワー
- 株式会社スクーデリア・ノーベ
- 株式会社マイマイホールディングス
- 有限会社福岡ダストサービス

一般社団法人STATICE 代表理事挨拶  
 『SMALL STEP TV』番組紹介  
 障がい福祉ミニ情報

## 目次

一般社団法人STATICE 理事紹介 .....	P2
【特別インタビュー】寺崎雅巳 福岡県教育委員会教育長 .....	P3～P4
第1回リアル訪問体験 ITで障害者の就労を支援する 【就労移行支援・就労継続A型・B型事業所 TeToTe】 .....	P5～P6
第2回リアル訪問体験 こだわりのチョコレートづくりで賃金向上を目指す 【久遠チョコレート 直方店】 .....	P7～P8
第3回リアル訪問体験 特例子会社としての取り組み 【西部ガス絆結 株式会社】 .....	P9～P10
【障がい者雇用企業インタビュー】Vol.1 株式会社マイマイホールディングス 三戸宗一郎 代表取締役 .....	P11～P12
『SMALL STEP TV』のご紹介 .....	P13～P14
障がい福祉ミニ情報 .....	

## 一般社団法人 STATICE



### 設立理念

～障がい者の経済的自立を実現する～

Stalice(スターチス) 花言葉

「変わらぬ心」

「変わらぬ誓い」

「誠実」「成功」

保護者の皆さまのお子さまへの「変わらぬ心」、社会で共に生きる企業の「変わらぬ心」、人としての成長や生活を支える教育・福祉の「変わらぬ心」を支えていける活動にしたい。

社団の「変わらぬ誓い」を体現した花として、そのまま社団名といたしました。



「心」墨象家 小山翔風 作

kanzeon 代表 樋口 大志

<https://kanzeon-social.com/>

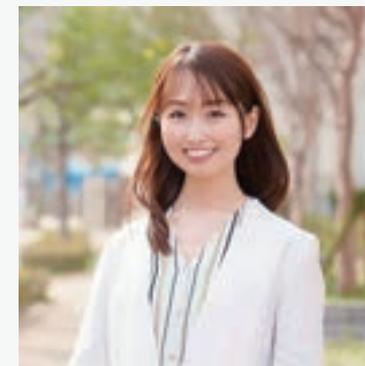


1978年生まれ、福岡市出身

九州大学卒業後、日本初のユヌス・ソーシャル・ビジネスカンパニー(刑務所出所者の社会復帰事業)の創業に参加した。第三子に自閉スペクトラム症と知的ボーダーがあったため「障がい者の経済的自立を実現する」ことを目的にしたkanzeonを創業し、「障がい者参加型エアコン洗浄」を行っている。

また、障がい者雇用達成企業は50%以下でありながら、障がい者の離職率が高いことに注目し、非営利事業である一般社団法人STATICEを設立しました。障がい者雇用義務が強化されていく中で、「本人・保護者」「障がい者福祉・教育」「障がい者雇用企業」の情報共有やコミュニティが不足していることが原因であると考え、保護者・本人による優れた雇用企業などを訪問する「リアル訪問事業」、情報共有を進める「フリーペーパー・動画配信事業」、お互いをピンポイントでつなぐことで選択肢を作り出す「コミュニティ事業」を始めました。このフリーペーパー創刊号をご覧の皆さまが、是非ともモニターとしてSTATICEの活動にご参加いただき、より良い進路選択ができるようになることを願っております。

その他、障がい者雇用コンサルタント・ソーシャルビジネスコンサルタントとしても活動しながら、様々な企業や福祉事業所と共に、障がい者の工賃アップ実現を目指すための伴走支援等もおこなっている。



株式会社CELTIS 代表取締役

障害福祉ジャーナリスト

古賀 佳奈子



1989年2月24日生まれ、京都府出身

大学卒業後、テレビ局報道ディレクター出身の代表が立ち上げた映像・動画ニュース制作会社に入社し、営業や制作全般業務、また、レポーター・ナレーターなど演者側での仕事もおこなう。

その後、個人事業として独立し、引き続き映像制作事業をおこなうほか、モデル事務所 (FeatPromotion / 東京都) に所属して司会やイベントMC、モデル業などを経験。

2020年に法人を設立し、自身の過去の経験から(不登校、母の難病と自死、発達障害の子の育児等)福祉をテーマとした情報発信がしたいと、JCOM 福岡放送にて自社プロデュースの番組『SMALL STEP TV』をスタート。「映像制作」を軸に、福祉事業との協業も目指している。

▶ QRコードより、アンケートのご回答をお願いいたします。



# 教育の基本は 特別支援学校に学びましょう

## 【特別インタビュー】

寺崎雅巳

福岡県教育委員会教育長



### Q1. 寺崎教育長の特別支援教育における原体験を教えてください。

大きく二つあります。

一つは、教育委員会で指導主事をしていた時のこと。

特別支援学校高等部を訪問した際、先生方が子どもたちに寄り添い、一人ひとり違う特性をもつ子どもたちに合わせた指導を工夫している姿が非常に印象に残り、学校教育の基本は特別支援学校に学ぶべきだと思ったことです。

二つは、孫に障がい（難聴）があること。生まれて間もない時から医療機関にかかり、まだ1歳になるかならないかの幼児の時に福岡県立久留米聴覚特別支援学校を紹介いただき、本人はもちろん、保護者にも手厚く指導して下さったことに、非常に感服いたしました。さらに、そのネットワークが強固に結ばれているところにも感銘を受けました。

### Q2. 福岡県教育委員会教育長として、特別支援教育に関して特に力を入れていることはありますか？

特別支援教育は、障がいのある子どもの自立や社会参加に向けた主体的な取り組みを支援するという視点に立って、一人ひとりの教育的ニーズを把握し、それぞれが持っている力を最大限に高めながら、生活や学習上の困難を改善・克服していくために、適切な指導や必要な支援を行っています。

私としては、この特別支援教育は、すべての学校において必要な教育であると思っています。

まずは、県立特別支援学校も含めて県立学校を積極的に視察し、様々な課題を把握しているところです。

5か月で県立学校約40校を視察しました。この活動は今後も続けていきたいと思っています。

### Q3. 福岡県の特別支援教育の新しい情報はありますか？

全国的に児童生徒数が減少する中で、特別支援教育を必要とする子供たちは増えています。

これは、特別支援教育への理解や認識が高まり、医学の進歩によりきめ細かな診断ができるようになったこと、また、障がいのある子どもの就学先決定の仕組みが変わってきたことにあると考えられます。

福岡県では、今年4月に糸島特別支援学校を開校しました。今後、令和8年には宗像（仮称）特別支援学校や早良（仮称）特別支援学校を開校していく予定です。

### Q4. 現在、特別支援教育における就労に関してどのような課題があるのでしょうか？

障がいのある子ども達の就労には、様々な困難があります。もちろん、自己実現している子どもも多くいますが、障がいの就労自体も非常に多様化してきました。

就労の課題については、学校でICT教育を進めたり、新たな職域に対応したキャリア教育を充実させたりする必要があると考えます。高等学校に在籍する生徒の中でも、発達障がい等がある生徒が、障がい者手帳の取得による障がい者雇用枠を利用して就職が実現した事例もあります。高等学校と特別支援学校、関係機関の連携をさらに強化していく必要があります。



### Q5. これから福岡県として、どのような特別支援教育を目指していきたいと考えますか？

障がいのある子供が将来の進路を自分で選択できるように、早い段階から夢や希望、あるいは卒業後の自分の生活のイメージを持つことが大切です。

保護者が就労に関する専門家から情報提供や助言を受ける機会を作るなど、保護者と学校との連携も推進していきたいです。

また、職業体験では産業現場等における実習など通じて、勤労観や職業観を育成する取り組みも進めています。

### Q6. 保護者・福祉・教育関係者・障がい者雇用企業などにメッセージをお願いします。

福岡県では、特別支援学校に通う子どもたちに、希望進路の実現に向けた新しい取り組みを行っています（県立特別支援学校生徒希望進路実現支援事業）。

一つは、在学中の職場体験及び卒業後の雇用につながる企業を見つける専門スタッフを配置していること。

もう一つは、障がい者雇用企業や福祉の専門家による学習会・個別面談会なども、保護者あるいは子ども達を対象に実施しています。

このように、学校・家庭・企業・福祉などが協力し合って、子どもたちの希望進路実現を目指していきます。

さらに、県立特別支援学校では、情報の発信もしております。HPをはじめ、様々な情報媒体を参考に、学校を知っていただきたいと思っております。

保護者の方は、障がいのあるお子さまのことで、非常に不安もあることでしょう。

そういった不安や悩みも含めて学校に相談していただければ、お子さまが小さい時から対応ができますので、お気軽にお声掛けいただきたいと思います。

また、一般社団法人STATICEのフリーペーパーは「障がい者の経済的自立を実現する」ことを目的としていただいておりますので、そういったフリーペーパー等の情報を通じて、保護者・障がい福祉、教育関係者・様々な企業などに情報が提供・共有され、そして大いに活かされ、障がいのある子どもの自立や社会参加の一助となることを期待しています。



## 寺崎 雅巳 福岡県教育委員会教育長 プロフィール

出身：久留米市出身 福岡教育大学卒

職歴：中学校教員(14年) 県教育行政関係職員(21年) 福岡県立美術館長(2年) 令和6年(2024年)4月より現職：福岡県教育委員会教育長

趣味：サッカー(サッカーがしたくて教員になりました) 今でも休日はサッカーの試合観戦に回っています

座右の銘：「我以外皆我師」

## 今回の取材者は…



## えいみー

宮崎出身福岡在住  
発達特性を持つ男の子を育てる母。  
マイブームはお風呂で一人リサイタル(笑)



## 高倉 恵

宮崎生まれ、大分育ち、福岡で熟成中  
子ども:長女(高1)、長男(中3)ADHD、  
次男(小6)自閉スペクトラム症、次女(2歳)の計4人  
株式会社サクセス&アソシエイツ  
(那珂川市にある総合保険代理店)勤務。  
損害保険8社、生命保険14社の中からお体に不安のある方など  
にも皆さまに合った保障をご案内しております。  
一言:子どもたちのやりたいことを引き出せるよう、  
子どもたちと一緒にアクティブに挑戦中。最近はおっぱら釣り!

## 今回私たちは、

特性をもつ子どもの保護者を中心に、  
お子様の進路や就労に不安を抱えて  
いる方 yourself では何を参考に  
すれば良いかわからない、  
先生は教えてくれない。  
と悩まれている方へ情報を届けたい  
との想いから、就労移行支援と  
就労継続A型事業所を手がけている  
TeToTe を訪問してきました。

## 「ITで障がい者の就労を支援する」

TeToTe は、福岡市中央区を拠点に、一般社団法人  
障がい者雇用支援機構とてが運営する就労移行  
支援事業と就労継続支援A型・B型事業所。

**就労移行支援**とは、資格やスキルを習得しながら自分  
に合う働き方や企業を探すことを目的としたサー  
ビスで、「**就労継続支援A型**」は事業所と雇用契約を  
結んだ上で働きながらスキルアップを目指すサー  
ビスです。また、「**就労継続支援B型**」は雇用契約を結ば  
ずに、障害や体調にあわせて自分のペースで利用し  
働く力を身に付けることを目的としたサービスです。  
一般的に福祉事業所の利用者は身体・知的・精神・  
発達など、何らかの障がいをもつ方々。その中で、そ  
れぞれの特性に合った事業所へ通所します。  
また、TeToTe の大きな特長は、**IT に特化した事業所**  
であること。

その理由は「ITであれば就業先にとらわれず活躍  
できるから」と、代表理事の中村浩之さんは話します。  
中村さんは、作業療法士の資格をもちながら、通販会  
社の経営に長く携わってきた中で、高齢者や障がい  
者の雇用を積極的におこなってきました。



さらに、中村さんご自身もプロeスポーツチームの  
マネジメントに携わっており、好きなことを見つける  
こと、やりたいことを仕事にすることが『自立』に繋  
がると考えています。  
そんな中、障がいのある方が持つ「ゲームが得意」と  
いう能力を活かすため、日本青少年eスポーツ協会  
Gamic と共同開発したのが『ZIRITSU』という自分  
の強みを知ることができるツール。  
世界で初めて障がい者のスキル習得から就労まで  
の道筋をゲーム感覚で実現することを可能にし、楽  
しみながら積極的なモチベーションで理想の就労  
実現することができます。

さらに『ZIRITSU』では、自身のアバターを作成し育てることで  
学んだ内容やスキルを可視化でき、退屈に感じることなく、  
自主的に続けられる設計に。また、自然に集まるデータをもと  
に、個々の才能や得意を発見できます。

企業にとっては、企業側が求めるスキルレベルやパーソナリ  
ティーから検索ができる機能が備わっており、人材選別に活  
かすだけでなく、発見した人材の日頃の活動内容などをリア  
ルタイムで確認することが可能になっています。まさに『企業と  
人材のマッチング』です。(マッチング機能は2025年実装予定)

そして、TeToTe で指導をおこなうのは、フリーランスで活躍する現役クリエイターのスタッフ。その他のスタッフも福祉に  
精通した方だけでなく、多様なスタッフを雇用しています。その理由は、障がい者を障がい者として扱わないことで、社会  
に出た時に直面することを前もって経験することができるからだ、代表理事の中村さんは話します。



## ～ おわりに～

家庭、学校を経て進む先を決めるのは保護者ではなく子ども自身であってほしい。  
障がいについて理解してもらえないのではないかと、将来、一般の職に就くのは難しいだろう、でも、ある程度稼  
ぐためには支援学校経由で就職するほかないのだろうか… など、考える人もいます。  
私も知らないことばかりで、学校の先生に聞いてもずっとそう言われてきました。  
TeToTe を訪問しての感想は、「あなたが必要」といわれるスキルを身につけることができれば、  
「やりたいことを仕事に」することができる。「働くことの喜び」を感じることができ、長く働くことができる。  
保護者がここまでしかできないだろう、こういうのは無理だろう、これだったらできそうだから…  
と決めてはいけないうことに気づかされました。子どもの将来を限定することなく、選択肢は無限にある、『  
好き』をみつける手伝いをしていこうと思います。  
中村代表理事、この度は貴重なお話をありがとうございました!

一般社団法人  
障がい者雇用支援機構 **てとて**

代表理事 中村浩之  
設立 2022年11月  
住所 福岡市中央区高砂2丁目4-2トライアルビル6F  
TEL 092-982-0362(問い合わせ先はこちら)  
HP <https://www.tetote-s.com/>

## くおん 久遠チョコレート 直方店

今回の取材者は… 宮内 弥緒

福岡を拠点とするフリーランスフォトグラファー。  
色彩豊かな表現を大切にしています。  
家族写真、ポートレート、スクールフォト、PR用写真、イベント撮影など数々のジャンルの撮影をしています。  
発達障がいと視力障害のある息子がいます。

障がいのあるない関係なく、全ての人の人生に彩りを添えられる活動を広げていきたいと思っています。

■Instagram [https://www.instagram.com/photolife\\_miao](https://www.instagram.com/photolife_miao)

■各種リンク先 <https://lit.link/miomiyauchi>



この度、障害を持つ子ども自身と保護者が将来、いずれ向き合わなければならない就労の世界を知っていただくため、障がいのある方が働く久遠チョコレート直方店を訪問しました。

全国に41店舗展開しており、久遠チョコレート直方店は2020年12月にグランドオープンしました。障がい者支援事業の株式会社悠友が運営する工房、販売店です。従業員は30名、就労継続支援B型で13名を支援しています。

社長の川口奈緒子さんは、介護支援専門員、社会福祉士などの資格を持ち、グループホーム、生活介護、就労継続支援B型、その他の経費事業に取り組んでいます。

困っている人を放っておけない、純粋に子どもを思う親の気持ちに寄り添いたいという気持ちがあったのがきっかけで、チョコレート事業を立ち上げたと言います。働く利用者さんの満足度を上げ、生きがいを感じ、働き辛さをなくして工賃アップを目指して取り組んでいます。

利用者さんに求めることは、質の高いものを作ること、一流のものを作ることと話されます。障がい者と共に作るとはいえ、社会貢献ブランドをうたうわけではなく、チョコレートへのこだわりと品質の目指すところは『一流のチョコレート』。

利用者さんにも、それだけの高いスキルと経験値が求められるケースもあるでしょう。そのためにも、スタッフとの連携が重要になってきます。利用者さんの困りごとへの対応や、利用者さん同士のトラブルへの対処、相性を見極めもしながら適性を見て仕事の割り振りをしています。

### こだわりのチョコレートづくりで 賃金向上を目指す



利用者さんは苦手なことがあっても、特定の作業に特化してスキルを発揮し頑張っている方もおられます。

得意不得意を補い合っって一流のものを作り上げていく過程が、利用者さんにとってだけでなく、チョコレートを購入するお客様にも豊かなものになっていると思います。



工賃を決めるにあたっての評価は毎日していると言います。日々ランク分けをして掛け算で計算するので、日によって作業内容に凸凹があったとしても、全体を通して見てくれます。

今日はまいちうまくできなくて悔しかったと思っても、次の日に頑張って取り返すぞ！という活力にも繋がると思いました。

最高の技術、情熱から生み出されるチョコレート、素材にこだわり手間を惜しまず、未来にこだわるチョコレート。障がいのある彼らがショコラティエとして、社会の中で育ち輝き続け、人にロマンを与え、豊かで明るい未来を作るチョコレートブランドというこだわりを持っています。

プロという自覚を持って社会の中で役割を果たすこと、生きがいを感じて日々充実した生活をおくれること、お互い認め合い尊重できる環境があることは、明るい未来に繋がると思っています。

多様性を認め合うことは、事業の中で最も大切にしている事とおっしゃっていました。スタッフの思う、利用者さんとその保護者に寄り添う気持ちと、利用者さんの思う、仕事を頑張っって生活を豊かにしたいという気持ちが合わさって生まれるエネルギーが、チョコレートを購入するお客様も伝わり、循環していくことで皆が笑顔になれる、幸せになれる。そんな社会が広がり、将来自分の子どもも何かしらの形でその一員になれたらいいなあと、心より感じました。

川口社長、この度は大切なお話を聞く機会をいただき、誠にありがとうございました。

### 久遠チョコレート 直方店

営業時間 10:00～18:00 (店休日 木曜) 駐車場有り  
住所 福岡県直方市津田町5番25号1F  
TEL 0949-52-6230  
運営 株式会社悠友  
HP <https://www.youyou-group.co.jp/>



## 特例子会社 西部ガス絆結株式会社

### 今回の取材者は… 片田 真満



みなさんこんにちは！  
発達障害とともにある我が子がきっかけで幼稚園教諭、保育士、そして社会福祉士の資格を取得し、今は就労移行支援所で働いています。  
今回絆結さんへの見学にご一緒させていただき、記事を書く機会をいただきました。



### ○船越社長の問いかけ

#### ■ 自立とはなにか

「仕事をしてお金を稼ぐこと」など、子どもたちならではの視点で答えていました。  
それに対する船越社長の考える自立とは「自分らしくあること」そして、「自分らしくいるために、誰かの助けを借りて生きる力があるか」とのお話がありました。  
なぜ、自分らしくあることが必要か。それは、「自分らしくあること」が働くために必要だとお考えだからです。



#### ■ 働いてお金を稼げる＝労働を提供できる

自立のためには、自分でお金を稼ぐこと＝働く必要があります。しかし、働いてお金をもらうには、あくまで「会社が認めた労働を提供できる」ことが前提です。ではどんな人が求められる人材なのでしょう？

#### ■ 「可愛がられる人」は仕事の幅を広げていける

船越社長の考える企業に求められる人材とは「可愛がられる人」です。もちろん、作業能力やスキルも必要ですが、それ以前に人として「可愛がられる人」であることが何より大切だとお考えです。  
なぜなら、「可愛がられる人」は最初はうまくできなくても、たくさんのチャンスを周りから与えられ、失敗しても応援してもらえ、仕事の幅が広がり、結果としてキャリアアップをしながら長く勤めることができるからです。

#### ■ 「可愛がられる人」はどんな人？

では、企業で「可愛がられる人」とは、どんな人でしょうか？

- ・「素直な心」  
他の人の意見やアドバイスをよく聞き、言われた通りにやってみようとする気持ち
- ・「あいさつ」  
明るい笑顔で元気に、いつでも変わらず、自分から先に相手に向かってあいさつをする特性上、目と目を合わせられなくても、相手に身体を向けることはできるはず
- ・「約束を守る」  
他の人と交わした約束を大切に思い、忘れることなく守れる
- ・「時間を守る」  
遅刻をしない。決められた時間の5分前に行動できる

船越社長がおっしゃるには、この基盤が整っていない方は、いくらパソコンのスキルが高くても離職されていくとのことでした。

#### ■ 「可愛がられる人」になるために、自分を知ろう

自分のよいところ、得意なこと、よく人から褒められること、好きなこと、楽しいことや、反対に苦手なこと、わからないこと、他の人に助けてもらいたいことなどもわかっておくことが大切で、さらに働くためにはそれを人に説明できるようにしておく必要があります。  
もちろん会社側も理解しようと努力はしますが、本人からの発信がないと分からないことも多くあります。ですが、自分を知ることって、実は難しいですね。そのために船越社長が保護者の方をお願いしたいのは、「さまざまな経験」をさせてほしいとのことでした。



#### ■ 生きる力があれば、仕事はできる

「さまざまな経験」とは、特別な経験ではなく、家の中の仕事、つまり家事です。最終的な自立を考えた時に、仕事をしてお金を稼ぐだけでは生きていけません。掃除や洗濯、買い物といった生活の基盤を整える必要があります。中でも料理はマルチタスクが求められ、生きる力が育つとおっしゃいます。  
現在、絆結さんで活躍のSさんは、働く前から家の中のことを積極的にされていたそうで、高校生の頃はお弁当のおかずを1品作ることから始められたそうです。  
そういった理由から、絆結さんの自立訓練でも、料理は毎週プログラムに組まれています。家の中の仕事ができると、基本的な生きる力は育ちます。しかし、全部が全部、自分1人でできる必要はなく時に誰かの助けを借りることも大切です。

このように、自分でできること、そして誰かの力を借りること、その両方のバランスがとれてこそ、自立につながります。そしてそれが、将来仕事が続けられる底力につながります。  
何も特別なことではない経験が、仕事ができる人、つまり自立できる人に育ててくれるのです。

### ○お話しを伺って

みなさんは、「自分らしくあること」とはどういうことか、答えられますか？  
正直私自身答えに困りました。

ですが、船越社長のお話しを私の経験を踏まえて考えると、働く上で最も大切なことは、パソコンのスキルやある専門的な知識や技術ではありません。努力する姿勢や規則正しい生活リズム、そして素直な心といった生きる力が肝心です。反対にここが備わっていれば、どこでも働けます。なぜなら、どこにいても「可愛がられる人」だからです。生きる力の向上は、今すぐご家庭で取り組むことが可能です。  
お子様の自立を願い、まずは一緒にキッチンに立ってみませんか？



特例子会社  
西部ガス絆結株式会社  
【コピーセンター絆結】

営業時間 9:00～17:30（休み：土日祝日）  
住所 福岡市博多区千代1-17-1 パピヨン 24 ビル B1F  
HP <https://www.copycenter-banyu.jp/>

## 株式会社マイマイホールディングス

「感謝」を常に忘れず、全職員と共に企業価値を高める



三戸 宗一郎  
代表取締役

### Q1 御社における障がい者雇用の現状を教えてください

2024年4月時点でマイマイスクールが身体障害者4名雇用、グループ会社マイマイ興産にて1名雇用しています。マイマイスクールでは、男性では心臓機能障害1級が1人と呼吸器機能障害4級が1人、肢体不自由3級が1人の計3人が送迎バスの運転手をしています。内、2名は10年以上の勤務となります。

また、女性では肢体不自由4級が1人おりまして、フロント業務を行っています。

グループ会社であるマイマイ興産では、初めて特別支援学校からの新卒(知的)を採用し現在3年目です。各人とも今では弊社にとってなくてはならない人材となっています。

※2024年11月現在では、心臓機能障害1級の方は定年となり再雇用されているが、勤務時間から障がい者雇用にかウントされていません。それでも本人の意欲にもとづき採用を継続しています。

### Q2 どのような採用を行っているのでしょうか？

特別支援学校からの新卒以外は、個人的なご縁が採用のきっかけです。障がいをお持ちでも就労意欲が高く、責任感の強い方を採用しています。ちなみに、障がい者雇用の求人は常におります。



### Q3 障がい者雇用の場合、一般的に離職率が高いですが、御社では皆さんが勤続されるように、どのような工夫がなされているのでしょうか？

障がい者雇用もその他雇用も区別していません。送迎バスの運転手もフロント業務も弊社にとって極めて重要な業務で、皆で区別なく仕事をしています。そのことがやりがいに通じていると思います。

また、特別支援学校については、博多高等学園卒業後に1年間、先生が会社まで来て熱心に励ましてくれました。そのおかげもあり本人も安心して勤めており、いまでは3年目の重要な人材です。

### Q4 いわゆる、合理的配慮についてはいかがでしょうか？

あえて言えば、  
・頻繁な声かけ  
・検査や入院などは柔軟に対応する  
・余裕のある人員配置により対応可能とする  
くらいでしょうか。

また、よく言われるように「障がい者」であること、「特権意識」については、最初は持っている方もありますが、徐々に会社の文化に適應していただいています。お互いが理解をすることで譲歩も必要です。従業員に特別な規制をすることなしに、運用の中で「合理的配慮」を実現しています。

### Q5 障がい者雇用における重要なポイントは何でしょうか？

障がい者かどうかで区別せずに、原則的に同じように対応することです。責任ある仕事にやりがいを感じて、長期間にわたり会社で重要な仕事を行ってくれます。そこは変わりません。

### Q6 送迎バスやフロント業務はお客様と直接に接する機会も多くきわめて重要な業務です。10年以上前からこのような業務において障がい者雇用を実施できたのはなぜでしょうか？

弊社の雇用において、業務遂行能力以上に重要視していることは、仕事に対する情熱・熱意の大きさです。弊社の業務内容にかかわらず、あらゆる仕事に通じる部分だと考えています。これは障がい者雇用においても同様に、弊社が変わらず大切にしている雇用の考え方です。障がい者雇用を始めて現在に至るまで、送迎バスやフロントのスタッフは、皆さん意欲的な姿勢で業務に取り組んでいます。

### Q7 2024年度に障がい者雇用率が2.5%となりました。2026年度には2.7%に上がる予定です。御社の障がい者雇用の計画についてお聞かせください。

2024年4月時点では弊社の障がい者雇用数は4名です。今後の雇用率引き上げを考慮すると2026年度までに最低5名の障がい者雇用が必要となりますが、上限をつくらず随時雇用できるように、採用窓口を設けています。

### Q8 最後に、三戸社長の思いをお聞かせください

弊社の経営理念は、お客様への感動提供、地域社会への貢献、社員の働き甲斐・やりがいの追求です。

それを推進する根底には「感謝」があります。障がい者雇用に限った話ではなく、弊社にかかわるあらゆる人達への感謝を常に忘れず、全職員と共に企業価値を高めていけるように努めて参ります。



## 株式会社マイマイホールディングス

### 企業紹介

1961年 創業 社名の由来「ゆっくりでも一步一步 安全で着実に前に進む」

2010年 日本経営品質賞「経営革新奨励賞」受賞

2014年 マイマイホールディングス設立 ※現在グループ6社体制  
九州で運転免許取得者数No1の自動車学校(笹丘校・花畑校)

URL  
<https://www.mymy.co.jp>



# ともに創る 未来へ進む SMALL STEP TV

「福祉」と「社会課題」をテーマとし

“今”を多角的に見る情報番組

JCOM福岡放送／YouTube『SMALL STEP CHANNEL』

小さな気づきを紡いでいけば、きっと世界は大きく変わる ―。

当事者として必要に迫られなければ、なかなか手を出しにくい福祉や社会課題のこと。

一方で、当事者になって初めて、ぶつかる壁が大きい現実も。

ひとりひとりの福祉に対する知識や理解を向上させて、多様な人々が今よりもっと暮らしやすい社会を創りたい。

そんな想いで、私たちは「伝える」ことで“変わる未来”を、すべての人々に届けていきます。



■日本初の障害者歯科「おがた小児歯科医院」  
■おがた小児歯科医院前理事長・緒方克也さん  
インタビュー



■障害者の経済的自立を目指して「kanzeon」  
■「学校になじめない子どもたちの居場所に」  
フリースクールゆうゆう代表  
梅津和子さんインタビュー



第三期 2022年10月終了 (Youtubeチャンネルにて視聴可能)  
2023年春より「九州ビジネスチャンネル (JCOM)」のコーナーとして再スタート。  
放送：JCOM 福岡放送 視聴可能世帯数：約91.5万世帯 (2019年3月現在)  
製作・著作・運営：株式会社 CELTIS

Youtube  
『SMALL STEP CHANNEL』



## 障がい福祉ミニ情報

### 社会福祉活動団体 笑心笑心

私たち笑心笑心(えみえみ)は、障害を持つ子どもやその家族を主な対象として活動を行っています。具体的な活動としては、運動教室や体育館の開放、マイアースカードというカードを使った教室の開講、地域行事への参加を行っています。さらに、家族への支援にも重きを置いており、週に一度、無償提供された野菜を各家庭に配達にしたり、保護者の相談を受けて適切な機関を紹介するなど子どもだけでなく、その家族へも支援の手が届くことを大切にしています。

代表 永野実華  
連絡先 TEL \* 080-1752-0716 (永野)  
メール rika716n@gmail.com  
Instagram 「笑心笑心」で検索



無償提供された野菜の配達



運動教室



マイアースカード教室

### NPO法人発達障がい者就労支援ゆあしっぷ

「ゆあしっぷ」は、発達障がいのある子どもを持つ親が設立し、当事者の自立を支援する講座や交流会(県事業)と、理解と支援の輪を広げるために行動分析学やTEACCHを学ぶセミナーを開催しています。2011年から2024年8月末までに361回開催され、延べ1万320名が参加。

また、当事者や保護者、教育関係者、企業からの相談にも対応し、今後も、発達障がいに対する理解促進と支援の拡大を目指しています。

理事長 桑原由美子  
HP <https://www.yourship.jp/>  
すまっぽん <https://smappon.jp/np6lesrv>

▶ 講座には当事者や保護者など多くの方にご参加いただいています



### NPO法人 SFD21JAPAN

2001年に体力増進を目的として団体を発足しジム(GYM)を開設した時、非行行動に悩む中学生の保護者から相談を受けた事をきっかけに青少年の立ち直り支援活動を開始し、2012年NPO法人化。活動は、アームレスリングを取り入れた居場所運営(福岡市西区、警固公園)、農業体験、悩み相談など。昨年は子ども食堂とドッグカフェの要素を取り入れた居場所づくりへの取り組みも始めています。SFDはSoul(魂)、Friends(友)、Dream(夢)の頭文字であり、青少年の立ち直りと自立に向けてゴールまで伴走する支援を続け、困難を抱える青少年にとって最後の砦になる事を理念として活動中です。

理事長 小野本道治  
電話番号 090-1194-3235  
メール [sfd.2001.japan@gmail.com](mailto:sfd.2001.japan@gmail.com)  
HP <https://sfd21japan.com>



カフェ



居場所(西区・通称ジム1)



農業体験